

子どもたちのことを第一に考えて心のケアにつながる対応を

先月に引き続きSNSでの成りすましいいじめ問題を取り上げます。成りすましいいじめは、相手が見えない非常に卑劣な行為です。現代社会を象徴する問題であり、社会として議論すべき人権問題でもあるので、その後の経過で見てきた問題点も含めてお伝えしたいと思います。



中学生のSNSでの成りすましいいじめについて、相談を受けてから2ヶ月以上が過ぎました。もちろん、学校にも教育委員会にも調査結果も含めて起こっている事実を伝え問題定義をしています。しかし、目に見える形での進展は未だにありません。何か事情があるのかもしれませんが、問題は子どもたちへのケアができないままに時間だけが過ぎていくということです。

いじめが起きた。傷ついている子どもがいる。いじめをした子どもがいる。この3つの事実現場である学校や教育委員会はどのように考えているのでしょうか？傷ついている子どもは、精神的にも追い込まれ辛さに耐えきれず最悪のことを考えてしまう可能性もあります。いじめをした子どもにも、それがどれだけよくないことが理解させ反省させることが、その子どもを救うことにもなるはずで、それが教育ではないでしょうか？

文部科学省にける教育基本法には「教育の目的」として、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とあります。いじめ問題の対応が、このままでよいはずがありません。すべては人権意識、人ごとではなく自分ごととして考えられるか、にもつながります。いじめ問題を表に出すとか出さないとか体裁の問題ではなく、まずは子どもたちのことを第一に考えて心のケアにつながる対応を求めます。

人権啓発講演会2019 in KOFU



12月4日(水)に、講師に大柴ゆかりさん招いて「子育てで見てきた地域支援の必要性 ～共に生きる～」と題して、甲府市総合市民会館にて人権啓発講演会を行いました。多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

第21回環境リサイクルフェアに参加

11月23日(祝)に、甲府市リサイクルプラザ、環境センターにて行われた「第22回環境リサイクルフェア」に参加しました。人権意識をより多くの方に持っていただけるよう、ご来場の皆さまにパンダの着ぐるみで啓発グッズ等を配布しました。



活動報告

- 人権啓発パネル展 12月5日(木)～12月8日(水)甲府市北公民館、甲府市南公民館において、人権啓発パネル展を開催しました。
- 人権メッセージ展 12月7日(土)クイーンズスクエア横浜にて開催された第24回人権メッセージ展に参加しました。

今後の予定

- 人権啓発パネル展 2月7日(金)～2月20日(木) 甲府市役所、甲府市南西公民館

※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチャ 会長：横山隆史
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：株式会社成心設備、西関東開発株式会社、株式会社ウィルマート、株式会社R&C

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立石田小学校 (六年生男子)

人権の事を聞いて

ぼくは、人権のことは、まったく考えてなくて、いつ死ぬかも、幸せになりたいというのあまり考えた事なかったです。電車の話を聞いて、人に親切にしたいと思いました。電車では体が不自由な人がいれば、一回だけチャレンジャーしてみたいです。小学校の最後まであとだいたい四か月しかないので、同級生や下級生や先輩といる人に親切にしたいです。

ぼくは、世界で戦争や伝せん病や殺人がなくなれば世界は、よくなると思います。テレビで見たそしきをぼくは、ほびめて知って、世界を平和にしたいという思いがすごいなと思っ、て、すごい人たちがだんと思まふたぼくも、う来ボランティアをしてみたいです。

甲府市立石田小学校 (六年生男子)

人権の話聞いてわかったこと

話を聞いてわかったことぼくは一つあります。その一つは人権と言うのは自分のことだけではないという人の気づかいを大切にすることをやる人がいたと声をかけてあげようということやとしをとっている人にバスの席をゆずってあげるだから人権は人への気づかいが大事だと思いました。気づかいの中でもすごい気づかいをしている人たちがいるのです。それは戦争や、災害時にいろいろな物もあげたり助けたりする仕事です。自分の命に関係なく行くのはすごいことだと思います。

これを見てぼくは自分のできることを探してみました。ぼくにできることはぼきんかつというや老人への気づかいぐらいです。でもぼくは大人になつたとき、ははひるくかどうしていきたいなと思います。ぼくはこの話を聞いて本当にはかっただけです。またぼくがこの話をいろいろな人におしえたいです。